令和 8 年度 輝け！子どもパフォーマー事業補助金 総括コメント

令和 4 年に活動を開始した第 3 期大阪アーツカウンシルは、本年度の審査をもって 4 年目の任期を終えることとなりました。この 4 年間、私たちは多数の事業視察を実施し、多種多様な文化芸術活動が大阪府内の各地で活発に展開されている様子を目の当たりにしてまいりました。

視察に際しては、可能な限り関係者の皆さまへのヒアリングを行い、各活動の背景や現場の実情について理解を深めるよう努めてまいりました。また、大阪アーツカウンシルが審査を担当する補助金・助成金事業の枠にとどまらず、ヒアリングやアンケート調査、インタビュー調査などを通じて、大阪における文化芸術活動の現状や課題の把握にも取り組んできました。

こうした活動を通して改めて感じているのは、大阪の文化芸術が持つ多様性と活力です。古今東西の文化が交差する地域として、多彩な文化芸術活動が各地で展開され、それぞれの分野で創造的な取り組みが続けられています。こうした活動を支えておられるアーティスト、アートマネジメント人材、技術専門職をはじめとする文化芸術関係者の皆さまのご尽力に対し、心より敬意と感謝を申し上げます。

毎年、本補助金の募集時期が近づくと、審査に関わる立場として身の引き締まる思いになります。募集が始まると、多くの優れた申請書が提出されますが、その一つひとつには、それぞれの団体や個人の方々が積み上げてこられた活動の歴史や努力、そして文化芸術への強い思いが込められています。申請書を拝見するたびに、その重みを感じ、審査の責任の大きさを改めて実感しています。

「採択したい」と思う申請が多くあるのが実情です。しかしながら、補助金の財源にはどうしても限りがあり、すべての事業を採択することはできません。限られた財源のなかで補助をする事業を選定するための審査を行うことは、私たちにとって非常に責任の重いものです。

今回の審査では、本補助金は、「次代を担う子どもたちの活発な文化活動を促進し、文化活動の発表を通じた子どもたちの感性、創造性、表現力の育成及び鑑賞した府民への感動の提供を図るとともに、大阪のまちの魅力発信や大阪の活性化をめざす」という趣旨のもと、文化芸術を通じた次世代育成の観点が重要となります。その上で、多様な子どもたちや青少年が文化芸術に親しみ、主体的かつ自主的に参加し、表現する機会をどのように創出しているか、そのための具体的な工夫や取り組みがなされているかといった点を重視し、慎重に審査いたしました。

令和 8 年度の募集結果は、合計 31 件（うち新規 17 件）の申請があり、15 件（うち新規 4 件）を採択、採択率は 48%となりました。いずれの申請も熱意ある取り組みであり、審査においては、活動分野、活動規模、活動期間、事業のフェーズ、地域性などさまざまな観点から議論を重ねながら、どのような活動を支援することが大阪の文化芸術の発展につながるのかという視点から慎重に検討を行いました。

また、今年度は新規申請の割合が高かったことが印象的でした。新たな団体や取り組みが増えていることは喜ばしいことである一方で、これまで何度も申請されていた団体の一部からの申請がなかったことについても、背景や要因を丁寧に考えていくことが重要であると感じています。

なお、採択に至らなかった場合であっても、それは決して申請された活動そのものを否定するものではありません。文化芸術活動は継続する中で育まれていくものであり、補助金申請もまたその過程の一つであると考えています。活動の意義や魅力、工夫を改めて整理し、申請書として具体的に表現することで、より活動の価値が伝わるものになると考えています。今後もぜひ継続して申請に挑戦していただければ幸いです。

大阪府文化課では、本補助金に関する事業説明会や個別相談会を実施しています。申請を検討されている皆さまには、こうした機会を積極的にご活用いただければと思います。また、大阪アーツカウンシルでもトークイベントや勉強会などを通じて、補助金・助成金申請の参考となる機会づくりに取り組んでいますので、ぜひご活用ください。

大阪アーツカウンシルとしては、本補助金の審査に関わるだけでなく、この制度そのもののあり方についても継続的に検証と検討を行っています。申請者の皆さまにとってより利用しやすく、また大阪における文化芸術の発展により寄与する制度となるよう、大阪府文化課と継続的に意見交換を行いながら制度改善に努めてまいります。

第 3 期大阪アーツカウンシルとしての活動は本年度をもって一区切りとなりますが、この 4 年間、多くの文化芸術活動の現場に触れ、大阪の文化芸術の豊かな可能性を改めて実感することができました。今後も大阪の文化芸術がさらに発展していくことを願うとともに、引き続き皆さまの活動を応援してまいります。

大阪アーツカウンシル統括責任者
宮崎優也